

岡山労働局長が長時間労働の削減、働き方改革に取り組むベストプラクティス企業を訪問しました。

毎年11月を「過労死等防止啓発月間」とし、長時間労働が懸念される事業場に対する重点監督、過重労働解消に向けた気運の醸成のため種々の啓発活動を実施しています。

ベストプラクティス企業訪問は、この期間中の取組の一つとして、長時間労働削減に向けた積極的取組を行っている企業を広く地域に紹介し、他の企業においても参考としていただきたいとの趣旨で実施します。

3回目となる今回は、働き方改革関連法が全ての企業に段階的に適用されることから、働き方改革に熱心に取り組まれている地場の企業の訪問をさせていただきました。

訪問日時	平成30年11月13日(火) 10:00～
訪問企業	倉敷木材株式会社 (本社所在地: 倉敷市中島1000番地1)
会社概要	創業 明治40年(1907年)、資本金 3000万円、従業員数 59名
業務内容	一般住宅建築、リフォーム、住宅資材販売・木材加工、家具販売



【倉敷木材㈱ショールームにおいて話を聴いている様子】

倉敷木材株式会社の時間外労働削減に向けた取組 ～働きやすい職場づくりへの取組～

1 基本方針

社員の行動規範として「diversity、fairness、responsibility」(多様・公正・責任)を設定、「生活者の視点をもった企業人の育成」、「『働き方に制約のある社員』も含めた相互尊重の風土作り」を掲げ、働きやすい職場作りに取り組んでいる。

2 主な取組事項

17時以降の社内会議を廃止 **一連の取り組みの「センターピン」となった!**
生産性向上のための業務効率化

- ・ 部門間の仕事の引継ぎがスムーズに進むため、業務の「見える化」(フローチャート化)により打ち合わせ時間の短縮
- ・ 手書きの書類を廃止、二重となる仕事を削減
- ・ IT化により、各部門間での情報共有化
- ・ 会議の人数・資料の削減

意識改革

- ・ ノー残業デイ(「はよ～帰ろうデイ」)を設置し、時間外労働を削減した(業務にメリハリをつける。他部署にも周知することで早く帰る環境を整える)。
- ・ 営業活動を支援する「CSチーム」の発足、属人的な営業スタイルからチーム営業スタイルへ移行した。
- ・ 改革を進めるため、業務の効率化の必要性について、丁寧に説明、理解を求めていった。

年次有給休暇一斉付与制度を導入(毎月第一土曜日を休日とした)

多様性への取り組み

- ・ 男女問わず短時間勤務制度、育児休業制度の利用を勧奨した。
- ・ 女性だけで構成されたチームを結成し、女性顧客に向けた企画実施した。

3 取組の効果

年次有給休暇の取得率が向上した。

2016年 439日取得(取得率39%)

2018年 842日取得(取得率75%)(**36%アップ**)

時間外労働・休日労働が削減した。

2015年 10.8時間 2018年 5.6時間 (**48%減少**)

チーム営業スタイルへ変更したことで、一部の法人顧客、個人顧客(特に女性の方)から取り組み姿勢を評価される機会が増えた。

社員の地域活動への参加(スポーツチーム監督、地域活動等への参加が増加)。

年次有給休暇の取得も向上した。

生産性の向上により、時間あたりの売り上げは1.4倍となった。